

# 伝われ、

# この思い

### 株式会社 ボーダーリンク

協賛：  
株式会社レアジョブ、株式会社プロンテスト

後援：  
千葉県教育委員会、埼玉県教育委員会  
神奈川県教育委員会、愛知県教育委員会  
千葉市教育委員会、さいたま市教育委員会  
川口市教育委員会、川崎市教育委員会  
相模原市教育委員会、名古屋市教育委員会  
東大阪市教育委員会、堺市教育委員会  
岡山市教育委員会

## 第6回 (株)ボーダーリンク主催 オンライン 中学生英語プレゼンテーションコンテスト 審査結果発表

株式会社ボーダーリンク主催 オンライン中学生英語プレゼンテーションコンテスト（以下、「プレコン」）は他の多くのコンテストと異なり、中学生なら国籍や海外滞在歴を問わず誰でも参加できます。英語力だけでなく創造性や表現力、そしてなによりも本人の頑張りを評価するコンテストです。

第6回となる今年は全国より約400名の中学生が参加し、「未来のわたし」というテーマに沿って、自由な表現方法で熱のこもったパフォーマンスを披露してくれました。2年、3年と続けて本プレコンに参加くださった中学生がだんだんと力をつけて入賞されたことは事務局としてとても嬉しく思いました。

優秀な成績を修めた7名の入賞者には表彰状とAmazonのギフト券が贈呈されました。次回は2025年夏に開催予定です。

### 最優秀賞

柳瀬 うるる さん（静岡市立大里中学校2年）「オーストラリアで警察官になりたい」



スピーチコンテストに参加した理由 ▶▶▶▶

I wanted to improve myself and become confident through trying something challenging. スピーチを行う上で心掛けたこと ▶▶▶▶

I am always thinking of the listeners. So, I try to speak English slowly and clearly to be understood. I always keep in mind to smile to engage them.

これから英語を使ってやってみたいこと ▶▶▶▶

I want to improve my English and presentation skills. Also, I want to help foreigners in need with my English. Of course, I want to go to Australia and make lots of friends.

※ 動画を視聴できます ▶▶▶▶ <https://vimeo.com/showcase/11401596>

### 優秀賞

國枝 菜南 さん  
（神戸女学院中学部3年）  
「医者、そして旅するバーテンダー  
になりたい」

さまざまな小道具を使い、バーテンダーとしての演技も交えながら自信を持って発表してくれました。



木下 慶一 さん  
（たつの市立龍野西中学校3年）  
「国境を越える医師になりたい」

体験談を踏まえ、医師になりたい気持ちをジェスチャーを交えて力強く語ってくれました。黒板に貼ったビジュアルエイドも秀逸でした。



# 第6回 (株)ボーダーリンク主催 オンライン 中学生英語プレゼンテーションコンテスト 審査結果発表

## 敢闘賞



石割 幹太 さん  
返子市立沼間中学校3年  
「走高跳の経験を生かして、  
未来へジャンプ！」



八木 美薫 さん  
大阪府立水都国際中学校2年  
「科学者になりたい」



古田土 芽彩さん  
富士見市立本郷中学校2年  
「キャビンアテンダント  
になりたい」



鈴木 湊 さん  
神戸女学院中学部3年  
「英語を使って広い世界  
へ羽ばたきたい」

## 講評



### 狩野 晶子

上智大学短期大学部英語科教授  
英語授業研究学会 理事、ELEC同友会英語教育学会 理事  
日本児童英語教育学会 (JASTEC) 理事、英語教育ユニバーサルデザイン研究学会 (AUDELL) 理事

次代を担う中学生の皆さんの情熱と創意工夫とが詰まったプレゼンテーションの数々、堪能しました。最終選考まで残った発表者はいずれも、十分に準備し、とてもたくさん練習をしたことが伝わってきました。すばらしいプレゼンをありがとう！

優劣つけがたい力闘のなかで、内容と構成については抽象的、観念的な言葉が上滑りししがちな中、思いの深さと、どれだけ「自分ごと」として捉えているかが鍵となりました。個人のエピソードや具体的な例が示されていると、強く説得力を持って聞き手に迫ってくると感じました。そして今回のコンテストはスピーチではなく、初めての「プレゼンテーション」コンテストということで、審査においては表現力も大きな要素でした。visual aidsすなわちスライドや背景などで提示する資料、カードや具体物などの手元で示すもの、さらに発表者自身の衣装などのセッティング、そしてジェスチャーや表情の使い方まで、全てが総合的に判断される材料となりました。

本コンテストは評価基準がかなりユニークで先進的です。ただ英語がうまいだけでは最終選考に進めません。プレゼンテーションとして、聞き手が全体として受け取る印象や、限られた時間の中での情報の伝え方が大きな決め手になります。創意工夫、独創性も問われました。上位に残った発表者は、自分の見え方や聞こえ方、資料を提示するタイミング、その時の声のトーンや表情などを十分に練り、またより効果的に届けられるよう練習を重ねていました。Zoomの仮想背景などを上手に利用したり、オンライン発表ならではの様々な工夫もたくさんあり、新しいプレゼンテーションの時代の到来を強く感じました。

残念ながら資料を自分の体で隠してしまう形になったり、手元資料やジェスチャーなどが十分に活用しきれていないケースも見受けられ、「相手意識」を持つことの大切さを実感しました。型にはまった話し方ではなく、より個人の思いや情熱を感じさせる、飾り気のない、けれども力強い語り口が上位入賞者に多く見られたのもこのコンテストならではの感想です。

総合的なコミュニケーションとしてのプレゼンテーションは、新しい時代の新しい表現方法です。どんどん進化させてください。さらに、デジタルの良さである記録と再現ができることを活かし、ぜひ自分のプレゼンを録画し、客観的に見直し、ブラッシュアップし続けてください。皆さんが人の心を打つ表現者として、英語と言う言葉の枠を超えて大きく未来へと羽ばたいてゆく姿が、今から楽しみです。



Believe in Your Possibility

「子どもたちの選択肢を増やし 将来の可能性を広げる」

〒330-0844 埼玉県さいたま市大宮区下町2-16-1 ACROSS 8階  
TEL:048-631-0230 FAX:048-642-8620

